

令和4年度 日置市教育委員会定例会(10月)

- 日 時：令和4年10月21日（金） 午後3時00分～午後3時50分
○場 所：日置市吹上中央公民館 大会議室（2階）
○出席者：奥教育長
委 員：内村委員・中島委員・胸元委員・鶴木委員
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)
立和名(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)
迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)
宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長：ただ今から日置市教育委員会10月の定例会を始めたいと思います。

2 前回議事録の承認

奥教育長：前回議事録の承認でございます。前回9月の議事録をお送りしましたが、修正等はありませんでしたか。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(特になし)

それでは前回の議事録は承認としたいと思います。

【前回の議事録承認】

なお署名・押印は、内村委員と中島委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長：委員の皆さんの報告に移りたいと思います。中島委員、お願いします。

中島委員：前回の定例会以降の出席等について、ご報告させていただきます。前回9月20日の定例会、それから飯牟礼小学校の学校訪問を私用でお休みさせていただきました。ご迷惑をおかけしました。

それでは、前回の教育委員会定例会以降の出席分についてご報

告いたします。10月12日、市教委学校訪問にて伊集院小学校に伺わせていただきました。職員数、渦尾校長以下教頭2名、特別支援教育支援員5名を含む58名、学級数が特別支援学級5学級を含む全35学級、児童数863名と、日置市でも唯一800名を超える大規模校になっております。教育目標に「豊かな心を持ち 確かな学力を身に付け たくましく生きぬく児童の育成」、また経営重点・努力目標として、①確かな学力の定着・向上と特色ある教育活動の充実、②心に届く積極的な生徒指導の充実、③豊かでたくましい心や体の育成と安全な学級づくりの推進、④人権教育・道徳教育の充実、特別支援教育の理解啓発と推進、⑤家庭・地域社会との連携強化、⑥学校の組織力向上と学校運営の効率化を掲げ、「学習の振り返りの重視」や「学力向上Webシステム等の活用による基礎学力定着の促進」、「国語・算数課の授業研究改善、学力向上委員会による各学年の共通実践改善」等の目標設定と推進に取り組んでいる内容を知ることができました。また、タブレットや電子黒板等のICTの効果的な活用、学力向上に向け、職員全員が共通理解と認識のもとに取り組んでいる姿が、職員紹介で明るく先生達をご紹介をされましたが、その雰囲気、それから先生達の思いを感じるなかで、先程申し上げたことがしっかりと意識付けされているんだなと感じたところです。

また、6年生の紙よろい作りや妙円寺詣り行事への参加など、特色ある教育活動もすばらしいなと思ったところです。低学年から高学年まで、どの児童もすれ違う度に、しっかりと目を見て元気よく挨拶をしてくれる姿や、校内の環境整備も整い、授業参観の時に整ったきれいな板書の文字で説明する先生の姿、また、児童が集中して授業を受ける姿を見て、その目の光る輝きの中に、先程申し上げた「経営目標・重点・努力点」がしっかりと実践されていると感じたところです。大規模校であるが故に、不登校の児童対応等の問題もありますが、特に不登校の児童対応については、組織的な生徒指導、スクールカウンセラーや子育て支援センターとの連携等により、改善に向けた取組がされていることも確認したところです。

9月25日の伊作田小・美山小の運動会、10月2日の東市来幼稚園・鶴丸小合同運動会は私用により欠席させていただきました。

以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。鵜木委員、お願いします。

鵜木委員：それでは報告させていただきます。

9月25日に開催されました伊集院地域の小学校の運動会を参観させていただきました。教育委員会の視察と重ならないよう時間設定を考慮して、初めに飯牟礼小学校に向かいました。学校に着いたところ、教育委員会用に用意されていた駐車場には地域の方々の車がとめられていて、駐車場探しに時間がかかったため、開会式から参加することができませんでした。開会式の様子は途中からでしたが、幼稚園舎の前で見学させていただきました。飯牟礼小学校では「心を強く 全力しっ走！ 力を合わせて 最後までゴール」をスローガンに行われ、保護者や地域の方の参観も多く、小規模校ならではの園児・児童一人一人が主役の運動会になっていると感じました。初めに行われた紅白によるエール交換では、団長の元気のある声に合わせて、それぞれの団ごとに演技が披露され、子ども達が運動会を楽しみにして準備を進めてきた様子が伺えました。園児から6年生までの「かけっこ」「短距離走」を応援しましたが、児童数が少なく男女混合での組編成だったため、どうしても男子の方が速いのはやむを得ないことかと思ったところです。飯牟礼小学校には9時30分まで滞在し、1～3年生の集団演技で児童が列ごとに場所を移動して踊る「残響散歌」までを参観しました。

続いて、土橋小・中学校の校区大運動会へ移動しました。ここでの運動会は、昨年、到着した時には予定よりも進行が早く、すでに終わっていたので、今年は確実に参観できる10時から11時までの1時間滞在しました。土橋中学校は「you smile I smile ～友に輝け～」を、土橋小学校は「きばれ 全力 みんなでつかむ大勝利～勝つのは わたしたち～」を大会スローガンに、地域住民も交えて実施されていました。特に高学年による「アンバランス」という種目は、天秤棒の片方に10kg、反対側に3kgの砂袋を付けて担いで走る種目でしたが、袋が破れて中の砂がこぼれるアクシデントもあり、笑いのなか楽しく見学することができました。予定より進行が早かったため、小学校及び中学校の紅白対抗全員リレーまでを見ることができました。特に応援合戦が、少な

い人数ながらも持ち時間5分のなかで、中学生を中心に趣向を凝らした内容で見応えがありました。

その後、伊集院北小学校に移動しました。伊集院北小学校は「最後まで 明るく元気に 赤黄組」をスローガンに行われ、2年生及び1年生の学年種目と、さらに北小学校の伝統となっている上学年による「チェスト！おはら」の演技と全校児童による「大逆転？縄跳び1分間チャレンジ」の4種目を参観し、閉会式に参加させていただきました。

10月12日は、伊集院小学校の学校訪問をさせていただきましたが、今、中島委員から詳しく報告がありました。その中で私が強く印象に残ったものを報告させていただきますが、校内研修体制における「見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業の創造～学びに向かう力・人間性の涵養をどう図るか～」という研究テーマでした。「深い学びの鍵」となるそれぞれの教科の「見方・考え方」は、結果を客観的な数字として表すことができないもので、まさにその教師のもつ専門性の高さを示す取組だと思うからです。「児童が自分なりにどのような視点で今日の学習課題を捉え、解決に向けてはどのような考え方をすればよいのか」など、本質を突く「見方・考え方」を身に付けることは、一律・一斉・一方向の学習からの転換を図り、新学習指導要領が求める、児童が「主体的に学ぶ」基盤になるのではないかと考えられます。伊集院小学校におけるこの取組に注目し、この取組の成果が新学力観の育成に寄与することを期待したいと思います。以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。胸元委員、お願いします。

胸元委員：報告いたします。

9月25日、永吉小学校第76回大運動会に参加いたしました。大会スローガンは「仲間と力をあわせ みんなが主役の運動会」です。今年も小学校単独の運動会でしたが、子ども達一人一人が自分の係を行いながら一生懸命演技する姿は、何度見ても爽やかな心地になります。3年生から6年生までが表現する永吉太鼓踊りも保存会の方々の丁寧なご指導があって今年も行われ、うれしく思いました。

10月12日、伊集院小学校を訪問いたしました。伊集院小学校の

通常学級とことばの教室・まなびの教室という通級教室を参観いたしました。通級教室は伊集院小学校児童だけでなく、日置市全体からも通級いたします。特別支援学級に関しては知られていますが、この通級教室については未就学児童の保護者の認知度が低いように思われます。認知度が低いことで、未就学児童の保護者が言葉の発達等に気づかず就学时健診でわかり、通級教室を知り不安になることが多いのではないのでしょうか。日置市の乳幼児健診は3歳までで、以降は就学时健診のみとなります。その間、すこやか相談会や親子教室、発達相談や療育相談、教育相談といった場が設けられていますが、相談の必要性に気づくことなく過ごしてしまうことを減らし、本人や保護者の意見を尊重するためにも認知度を上げる工夫が必要ではないかと思いました。以上になります。

奥教育長：はい。ありがとうございました。内村委員、お願いします。

内村委員：報告させていただきます。

9月25日は、素晴らしい青空のもと、日吉学園の第2回運動会に出席しました。1年生から9年生まで246名の児童・生徒が一同にグラウンドに集合して元気な運動会になりました。スローガン「輝け 青春 みんなの花舞台 かっても まけても わらいあおう」のとおり、開会式から8種目の競技、7種目の演舞は、前期・後期の応援団のエール交換で始まり、最後の締めは後期応援団の応援演舞で感動のフィナーレでした。短距離走やリレーでは、一人一人が最後まで真剣に走り、バトン渡しがとてもスムーズで、引き締まったリレーになりました。また、1年生・2年生の合同演舞では、子ども達の心身共に成長した姿に保護者の皆様が喜んでいました。最後の締めの後期課程応援団演舞は、学園最後の高学年9年生団長が全身全霊を振り絞っての姿が、応援団員や観衆の心を一つにして、胸が熱くなる感動を与えてくれました。9年生はこれから受験勉強に挑戦しますが、この素晴らしい感動が自信に繋がることでしょう。また、日吉学園2年目のよき伝統が今後繋がる素晴らしい運動会でした。

10月15日・16日は、岐阜県関ヶ原町を井多原副市長・中村市議会議員・外薮会計課長と私の4名で親善訪問しました。関ヶ原町では、最初に島津義弘公の甥にあたる島津豊久公の墓を訪問しま

した。豊久公は、関ヶ原の戦いでは島津隊の先手を務め、「島津の退(の)き口」では殿(しんがり)にまわって奮戦、重傷を負い、自刃して果てました。義弘公の敵中突破を成し遂げた勇敢な武将で、瑠璃光寺境内に丁重に祀られていました。次に長寿院盛敦の墓を訪問しました。盛敦は関ヶ原合戦で、義弘公の求めに応じて参陣し、「島津の退き口」では義弘公より賜った陣羽織を身に付けて「我こそは義弘也」と名乗り、義弘公の身代わりとなって討ち死にしました。盛敦の墓は琳光寺境内に祀られていました。両名は「殿の戦い」これは「死を前提として追ってくる敵を食い止める殿の役」、そして「捨てがまり」という「退却する途中で小部隊を留め置き、追ってくる敵と死ぬまで戦って足止めし、本隊を逃がす戦法」で応戦し、義弘公を薩摩に無事に帰国させることに成功しました。その勇敢な2人は上石津町の瑠璃光寺、琳光寺に菩提寺として手厚く祀られています。義弘公を生かして薩摩まで帰るために、豊久公や多くの武将が命を懸けて守り通した義弘公は、計り知れない人間力と人徳の持ち主だったのだろうと改めて思い、その人間力と人徳の深さがどうすれば完成するのか、今後地道に学びたいと思いました。その後、開館2年目の関ヶ原古戦場記念館を訪問して、関ヶ原合戦の迫力ある映像をシアターで観戦しました。夕方、記念館前広場で、加治木島津家13代当主島津義秀氏による薩摩琵琶独演会を鑑賞しましたが、厳かな音色の琵琶演奏が冷たい星空に響いていました。夜の歓迎会で中川教育長と同席になり、関ヶ原町は令和3年4月から関ヶ原小学校と今須小学校、関ヶ原中学校と今須中学校がそれぞれ統合して、1小学校・1中学校になり学校業務がやりやすくなったと言われていました。統合まで2年程かけて地域に地道に説明等をして統合に繋がったと言われました。

2日目は島津義弘公陣地跡に行きました。同敷地に関ヶ原踏破隊の歴代の隊員の名前が石碑に彫ってあり、知っている方の名前もあり感慨深いものでした。義弘公、豊久公を偲び、日置市の小中学生が踏破に挑戦し、今年はコロナで3年ぶりとなり、数えて63回目を迎えましたが、現在まで脈々と続いているところがすごいと思いました。次に石田三成は、関ヶ原町が一望できる笹尾山に本陣を置きましたが、そこまで登りました。天気もよく素晴ら

しい景観でした。またその下では、関ヶ原合戦祭りがあり、鉄砲隊11名が次々に火縄銃を打ち放して、迫力満点の轟音に驚き、それを見守る見物人も多数いて、関ヶ原町が関ヶ原合戦を通して観光に力を入れているのを肌で感じました。

10月19日は、南大隅町の山崎教育長外8人が研修視察に来園されました。「日吉学園の開校までの協議事項等について」や、「現在の前期・後期の先生方の乗り入れ授業について」「部活の現状等」の質問や確認をされました。また、日吉学園の学校運営協議会の現状についても学園から説明されました。「南大隅町は旧根占町と旧佐多町にそれぞれ小・中学校が1校ずつありますが、旧佐多町の小・中学校の児童・生徒の減少が激しく、佐多小が50人、佐多中が27人になったことから、特色ある義務教育学園を早めに設置するために、研修視察に来ました」と言われました。

「小学校・中学校とも近い距離にあるので、学園設置に向けて、地域的には問題はない」とも言われていました。

10月12日の伊集院小学校の学校訪問については、中島委員、鶴木委員、胸元委員が詳しく述べられましたので、割愛いたします。私からは以上になります。

奥教育長：はい。ありがとうございました。それでは私の方から報告をさせていただきます。委員の皆様と重なる部分は省かせていただきます。

10月1日、新聞にも報道されましたが、飯牟礼の古城自治会で史跡勉強会が開催されました。そこは山城跡が残っておりまして、社会教育課の瀧川主査と歴史を語る会の帖佐さんのお二人が講師で、それぞれ講話を頂いた後、お二人のガイドで現地の視察をいたしました。天気もよく、大変有意義な勉強会だったと思います。

それから今、内村委員から関ヶ原の親善使節団のお話でしたが、私も久木崎局長や観光協会の会長さん達と一緒に総勢8人で、大垣市を訪問させていただきました。「十万石まつり」という祭りにお招きいただきましたが、壮大で歴史のある祭りに感動を覚えるところでした。今、お話に出ました大垣市、関ヶ原町、それから鶴木委員が行かれた多賀町、この方々は明日からの妙円寺詣りにおいでいただくことになっておりまして、始良市を加え

た4つの町の方々に出席いただいて妙円寺詣りを行いたいと思っております。

10月15日に子ども会と共催の妙円寺詣り大行進が行われました。これは2年ぶりの開催で、社会教育課の報告にもあると思いますが、大勢の方が参加をして無事に実施できました。それからその夜、伊集院駅前竹灯籠の点灯式がありました。これは、地区公民館が主催し、有志の方々がそれに加わって、ここ数年、竹灯籠を設置して一定期間点灯しているものです。今年は紙よろい作り普及会の青葉隊の子ども達がオープニングを飾ってくださいました。この子ども達は明日と明後日の妙円寺詣りでも武者行列保存会と一緒に参拝をしていただくことになっています。

10月16日に日吉の方で合唱グループの方々が「旧日吉町小中学校の校歌に集うコンサート」を開催しまして、これまで日吉町にあった小中学校の校歌を全てメドレーで披露していただきました。最後は日吉学園の現在の校歌が作曲をなさった四元孝子先生の伴奏で披露され、大変感動的なコンサートができたと思います。旧学校職員の方や地域の方々が非常に懐かしそうに聞き入っておられたのが印象的でした。以上で報告を終わりたいと思います。

4 議事

【議案第4号 日置市立幼稚園規則の一部を改正する規則について】

奥教育長：議事に移りたいと思います。今日は議案が1つ、報告が1つございます。まず、議案第4号 日置市立幼稚園規則の一部を改正する規則について、提案をお願いいたします。久木崎事務局長。

久木崎局長：議案第4号は「日置市立幼稚園規則の一部を改正する規則について」でございます。様式の変更に伴い、規則の一部を改正したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第3号の規定により提案するものでございます。

別紙により説明いたします。「日置市立幼稚園規則の一部を改正する規則、日置市立幼稚園規則(平成20年日置市教育委員会規則第7号)の一部を次のように改正する。様式第1号、様式第3号及び様式第4号中の「㊦」を削る」とあるのは、行政手続きの簡素化によるものでございまして、様式第1号は入園願書、様式第3号は

入園辞退届、様式第4号は退園(休園)届で、届出の際の押印を省略するものでございます。なお附則では「この規則は、令和4年10月21日から施行する」と規定しています。以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願いたします。

奥教育長：はい。ただ今、ご説明があったとおりでございます。ご質問等ございますか。

(特になし)

よろしゅうございますか。

(特になし)

はい。それでは議案第4号は決定とさせていただきます。

【議案 第4号 議決】

【報告第19号 令和4年度日置市一般会計補正予算(第8号)の市長への意見具申について】

奥教育長：報告第19号 令和4年度日置市一般会計補正予算(第8号)の市長への意見具申について、説明をお願いいたします。久木崎事務局長。

久木崎局長：報告第19号は「令和4年度日置市一般会計補正予算(第8号)の市長への意見具申について」であります。令和4年度日置市一般会計補正予算(第8号)について意見を求められ、臨時に代理し、別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものであります。

11ページをお開きください。歳出予算で教育費 585万円、災害復旧費 文教施設災害復旧費で719万1,000円を計上するもので、これは機器の故障によるものと、9月18日～19日にかけて影響のあった台風14号による被災箇所の災害復旧費でございます。

それでは別冊の説明資料により説明させていただきます。4ページをお開きください。教育費では585万円の計上となります。4ページの中段からやや下になりますが、10款02項01目学校管理費これは小学校費ですが、14節工事請負費 単独事業では、鶴丸小学校の屋内消火栓のポンプユニットが故障したため、緊急に420万円を予算計上するもので、これにつきましては台風に起因するも

のではありません。次に03項01目学校管理費 これは中学校費ですが、14節工事請負費 単独事業では、台風14号の影響をうけ、吹上中学校の北校舎、音楽室と図書室に雨漏りが発生したため、165万円を計上するものでございます。

6 ページになります。11款04項01目学校災害復旧費 10節需用費 現年単独小学校災害復旧費では、伊集院地域9件、吹上地域の学校で1件、計10件 168万3,000円を計上するものでございます。現年単独中学校災害復旧費では、伊集院地域12件、吹上地域1件、計13件 165万1,000円を計上するものでございます。この内容につきましては、強風による樹木の倒木処理や施設の雨漏り、壁等の破損が多く発生しております。幸いにして大きな損害はありませんでした。次に02目体育施設災害復旧費、社会教育課関係でございます。10節需用費 施設維持修繕料 現年単独体育施設災害復旧費では伊集院・東市来・日吉地域の総合運動公園等の施設で合計 385万7,000円を計上するものでございます。内容につきましては、伊集院総合運動公園機具倉庫屋根、東市来総合運動公園多目的広場ベンチ屋根、日吉総合体育館のガラス修繕(7カ所)が被災したことによる予算計上になっております。以上で説明を終わりますが、ご審議方よろしくお願いたします。

奥教育長：はい。ただ今、説明があった所でございます。ご質問等がございましたら、お出しいただきたいと思っております。

はい、内村委員。

内村委員：4ページの吹上中学校北校舎の雨漏り改修工事ということで、音楽室、図書室ですが、音楽室の楽器や図書室の本などには被害はありませんでしたか。

久木崎局長：被害はありませんでした。

内村委員：分かりました。ありがとうございます。

奥教育長：他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(特になし)

それでは、ただ今の報告第19号は承認とさせていただきますよろしいでしょうか。

(異議なし)

では承認いたします。

【報告 第19号 承認】

5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所教育振興課長
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 閉会

奥教育長：以上で日置市教育委員会10月の定例会を終了いたします。お疲れ様でした。

終了

署名委員 榎本親心 

署名委員 胸元直美 

